

第36次宮城県社会教育委員の会議 兼 第12次宮城県生涯学習審議会 意見書の概要

第36次審議テーマ 新たなステージに向けたオールみやぎの取組 ～継承と創造によって持続する地域へ～

1 背景

(1) 国の施策より

第3期教育振興基本計画

・教育政策に関する基本的指針5項目

第10期中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申)」

・社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりの好循環

第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理

・新しい時代の学びの在り方

(2) 宮城県の現状と課題

人口減少・少子高齢化

- ・地域のコミュニティ活動の持続性に不安 ・高い高齢化率
- ・地域の伝統文化等の伝承に不安
- ・小中学校の統合(地域の学校がなくなる)
- ・世代間をつなぐネットワークの減少
- ・青年層の地域活動等への参画の減少

東日本大震災から10年

- ・復興・再構築による地域コミュニティの激変
- ・心の復興を図る継続的な取組 ・地域防災の構築, 維持

新型コロナウイルス感染症

- ・交流の場, 学ぶ場の減少
- ・新しい生活様式における学びを止めない工夫

Society5.0へのシフト

- ・生活スタイルや学習方法等の変化
- ・ICTの活用が不得手とする人への対応
- ・通信, ネット環境の整備・充実

(3) 県の施策より

新・宮城の将来ビジョン「宮城の未来をつくる4つの柱」

- ・基本方向2「社会全体で支える宮城の子ども・子育て」
- ・基本方向3「誰も安心していきいきと暮らせる地域社会づくり」

第2期宮城県教育振興基本計画

- 〈目標5〉生涯にわたり学び, 互いに高め合い, 充実した人生へ
- ・誰もがいつでも学ぶことができる環境の充実

(4) これまでの提言より

第35次の提言

- ①〔ひと〕世代や新旧の壁を越えたコミュニティづくりと人材の育成
 - ②〔もの〕県立自然の家の有効活用
 - ③〔こと〕社会教育ネットワークの醸成
- 第10次生涯学習審議会答申のテーマ
- ・「地域の力を活用した学びの場の充実と『学びと実践の循環』の仕組みづくり」

2 審議テーマの押さえ

新たなステージに向けたオールみやぎの取組

【新たなステージとは】

- ①少子高齢化の進行を見据えた新たなステージ
- ②東日本大震災10年経過からの新たなステージ
- ③Withコロナ時代における新たなステージ
- ④Society5.0「超スマート社会」に向けた新たなステージ

【オールみやぎとは】

○県内の社会教育行政職員, 社会教育関係団体, NPO, 企業, 大学等の社会教育に関わるすべての人たち

継承と創造によって持続する地域へ

【継承とは】

これまでに社会教育行政や社会教育関係者が取り組んできた内容や東日本大震災を経験して得た学びや実践

【創造とは】

新たなステージに向けた「オールみやぎ」で取り組む新たな学びや実践

【目指す姿】

- 「住んで楽しい! 学んで楽しい! かかわって楽しい!」私たちの地域
- 地域住民が, 学びをとおして様々な人とつながりながら, いきいきと地域生活を送り, 行政が地域住民の学びと実践を支援・伴走していく姿。

3 先進地調査より

【気仙沼市まち大学運営協議会】

- 首長部局とNPOが連携した取組 震災からの復興
- ・支援のために気仙沼に入った人材との連携

【名取市那智が丘公民館】

- 公民館と地域住民が連携した取組
- ・市全体としての研修体制やバックアップ

【長野県長寿社会開発センター】

- シニア大学におけるICTを活用したつながりづくりの取組
- ・高齢者と大学生の交流

共通点

- 地域づくりに関わろうとする意欲を持った地域人材(職員)の存在がある。
- コーディネーターのマネジメント力と地域住民との良好な関係がある。
- 地域住民の学びをつなぎ, 学びを生かし, 他の人とつながる仕組みがある。
- 地域づくりに関わる人たち(コーディネーター等)の定期的なミーティングがある。
- ホームページ, チラシ, パンフレットなど工夫を凝らした広報を行っている。

4 提言の具体的内容

◎「創造」の側面

○「継承」の側面

学びづくり

◎全世代に向けた社会の変化に対応した学びの提供を行う。

【具体的事業例: ICTを活用した学びの提供, みやぎ県民大学の充実】

○地域に生きる学びや実践を支援・伴走する。

【具体的事業例: みやぎ学び支援プログラム・実践事例集の作成】

○学んだ成果を生かす仕組みづくりを行う。

【具体的事業例: 生涯学習プラットフォームを活用した学びの循環】

人びとづくり

◎社会教育に関わる地域人材を創出する。

【具体的事業例: 地域住民をターゲットにした地域づくりの人材育成】

○地域の未来を担う若者人材を育成する。

【具体的事業例: みやぎの協働教育の充実, 青少年と地域をつなぐ体験活動の推進】

○社会教育行政に関わる人材を育成する。

【具体的事業例: 社会教育関係職員研修会の充実】

絆づくり

◎多様な主体との連携・協働を推進する。

【具体的事業例: 社会教育に関わる新たな連携・協働の仕組みづくり】

○人びとの絆を育む活動を推進する。

【具体的事業例: 家庭教育支援事業の充実, 多世代にわたる体験活動の推進】

○社会教育に関わる人材のための地域を越えた交流の場・

つながりの場・循環の場を創出する。

【具体的事業例: 社会教育フォーラム, 遠隔会議システムによる交流会】

推進体制

「住んで楽しい! 学んで楽しい! 関わって楽しい!」私たちの地域

